

# Ground Station Network(GSN) WG

2015年12月6日

東海大学 衛星プロジェクト

学部二年 簗和田 孔

# GSN全体

目的 衛星通信地上局のネットワーク運用システムを構築すること

人のネットワーク

技術のネットワーク

- インターネットで地上局を結び、相互に協力運用するネットワーク
- 技術や人脈などを形成するための活動

## 期待される効果

- ✓ 通信時間の増加
- ✓ 代替局の即時利用
- ✓ 打ち上げ直後や  
トラブル時の対応

GSN参加局



# GSN WS/チャットMTG

## 活動内容

- 年二回のワークショップ実施
- Skype上での定期的なMTGの実施  
→ 2014年度よりチャットから音声に変更した

## 今年度と今後の活動

- 定期的なGSN MTGの実施
- 11月の第2回UNISEC GlobalにおけるGSN discussionや衛星WG主催の情報共有会議の結果を受け、**GSNの連携方法に関する議論を進める**



2014年7月WS@東大  
地上局保守、点検、修理に関するグループワーク

# 共有局及びネットワーク管理

## 活動内容

- 遠隔地上局(菅平局)のメンテナンス
- 遠隔地上局システムのネットワーク管理（ドメイン維持）

## 今年度と今後の活動

- 菅平遠隔局へ遠隔アクセスが可能になるようにネットワーク側の復旧を行おうとしている

# ノウハウ共有

## 活動内容

- 各大学の持っているノウハウを共有する
- 新規で地上局構築を行なう大学に有用な情報を届ける
- 衛星通信のノウハウを高めるために受信コンペなどを計画

## 今年度の活動

- 国際周波数調整の手続きに関する勉強会の実施

## 今後の活動

- SNSとwiki, メーリス掲示板の使いわけを強化 (**GSN WS**)
- 世界との連携を考慮し英語ページの作成

# 2015年12月WS報告

## 周波数国際調整の手続きに関する勉強会

- マニュアル暫定版に関するフィードバック
  1. 感想や内容に関するコメントのまとめ
  2. Q&Aの追加項目のまとめ
- 手続きに必要なソフトウェアのデモンストレーション
  1. API(事前公表資料)フォームの作成
  2. コンター図の作成

# 背景

人工衛星の打ち上げが爆発的に増加

→総務省の周波数調整手続きの作業がパンク



自分たちで申請作業を行うノウハウが必要

# 今後の活動

ページ数が多いという意見があった

→各項目ごとに分割したマニュアルの作成

適切な申請値を算出できることが求められる

→今後も勉強会を実施

手続きに関する知識を広く共有する

→Q&Aページの作成



ご静聴ありがとうございました